

## 「資料編」項目一覧

財務データ	バーゼルⅢ 第3の柱(市場規律)の開示
営業の概況(連結ベース)…………… 7	自己資本の充実の状況等
主要な経営指標等の推移(連結)…………… 7	自己資本の構成に関する開示事項
主要な経営指標等の推移(単体)…………… 8	連結自己資本比率…………… 38~48
中間連結貸借対照表…………… 9	単体自己資本比率…………… 49~56
中間連結損益計算書…………… 10	自己資本調達手段に関する契約内容の概要と その詳細…………… 56
中間連結包括利益計算書…………… 10	定性的な開示事項
中間連結株主資本等変動計算書…………… 11	連結の範囲に関する事項…………… 57
中間連結キャッシュ・フロー計算書…………… 12	標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、 次に掲げる内部格付手法のポートフォリオに分類する 場合の基準…………… 57
中間連結財務諸表の注記事項…………… 13~16	中間連結貸借対照表(中間貸借対照表)の科目が 別紙様式第5号(別紙様式第1号)に記載する項目 のいずれに相当するかについての説明…………… 57
セグメント情報…………… 17	定量的な開示事項
中間貸借対照表…………… 18	その他金融機関等であって銀行の子法人等である もののうち、自己資本比率規制上の所要自己資本を 下回った会社の名称および所要自己資本を下回った 額の総額…………… 58
中間損益計算書…………… 19	リスク・ウェイトのみなし計算または 信用リスク・アセットのみなし計算が適用される エクスポージャーの額…………… 58
中間株主資本等変動計算書…………… 20	別紙様式による開示事項…………… 58~84
中間財務諸表の注記事項…………… 21・22	レバレッジ比率に関する開示事項
金融再生法開示債権及びリスク管理債権…………… 23	連結レバレッジ比率の構成に関する事項…………… 85
業務粗利益等…………… 24・25	前中間連結会計年度の連結レバレッジ比率との間に 著しい差異を生じた原因(当該差異がある場合に 限る。)…………… 87
資金運用・調達勘定…………… 26	単体レバレッジ比率の構成に関する事項…………… 88
受取利息・支払利息…………… 27	前中間事業年度の単体レバレッジ比率との間に 著しい差異を生じた原因(当該差異がある場合に 限る。)…………… 90
預金・貸出金…………… 28	流動性に係る経営の健全性の状況
貸出金等…………… 29	流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項…………… 91
貸出金・有価証券…………… 30	安定調達比率に関する定性的開示事項…………… 91
有価証券…………… 31・32	流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項…………… 92・93
金銭の信託・その他有価証券評価差額金・デリバティブ取引…………… 33	安定調達比率に関する定量的開示事項…………… 94・95
デリバティブ取引…………… 34	
デリバティブ取引・電子決済手段・暗号資産・信託業務…………… 35	
従業員の状況等・1店舗当たり預金・1店舗 当たり貸出金…………… 36	
大株主・役員一覧…………… 37	

本資料は、銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務および財産の状況に関する説明書類)です。